

令和3年度(2021)重要テーマ

公務員試験(大卒程度)の教養論文で出題されるテーマは多岐にわたりますが、基本的には、前年もしくは直近2、3年で大きく社会的に問題となっているテーマが出題される傾向にあります。日頃からニュースを見る習慣があれば(たとえ毎日、新聞に目を通していなくても)、何かしら論文として仕上げることもできるでしょう。

しかし、これまでたくさんの論文を添削してきましたが、知識が間違っていたり、知識だけを羅列し自分の意見を全く主張していない論文も多くみかけます。これでは、内容以前に、形式面で不合格になってしまいます。

細かい知識にとらわれずに、良識に基づいて自分の意見を述べていくことを忘れないようにしましょう。

【添削にあたってのお願い】

まず、受験先の自治体ホームページやお手持ちのテキスト等で、受験先の過去の出題例を確認し、その傾向にあったテーマを、下記の重要テーマを参考にしながら選択して書いて下さい。数年にわたって社会問題となっているテーマ(たとえば高齢社会問題や男女共同参画社会など)は、同じ自治体で繰り返し出題されることがあります。特に苦手意識のあるテーマがあれば、それを書いてみるとよいでしょう。

過去の出題情報が不明の場合も、下記のテーマを参考にしてみてください。

***なお、すでに書きたいテーマがある場合はそのテーマで書いて提出してください。**

まずは書いてみるのが大事です。そのあとに返送される添削・アドバイスを参考にし、再度書き直し提出することで論文の力をつけていきましょう。

ASK 公務員論文対策室

(重要テーマ一覧) *テーマの順番と重要度は関係ありません。

- テーマ① 働き方 / ワークライフバランス
- テーマ② 少子化高齢化 / 人口減少
- テーマ③ 地方創生 / 観光
- テーマ④ 防災・減災(危機管理①)
- テーマ⑤ 感染症対策(危機管理②)
- テーマ⑥ 情報通信(DX / ICT / SNS)
- テーマ⑦ SDGs
- テーマ⑧ その他(コミュニケーション/ ダイバーシティ)

テーマ① 働き方 / ワークライフバランス

「働き方改革」が求められる背景と、今後取り組むべき施策についてあなたの考えを述べなさい。

【ポイント】

「一億総活躍社会実現」のための最大のチャレンジとして「働き方改革」の取組みが行なわれています。「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」や「育児や介護との両立など、働く人のニーズの多様化」を背景に、どのように「働き方改革」をすすめていくべきかを論じるテーマになります。特に、新型コロナウイルスの感染拡大によりテレワークを取り入れる企業も急増しました。しかし、この働き方は今後も定着していくでしょうか。テレワークの導入に消極的な企業は今後どのように変わるべきなのでしょう。テレワークは大きなメリットがある一方で、個人の労働生産性の向上などの問題も抱えます。

ポストコロナも見据えた働き方について論じていってください。

(類題)

・人々の働き方に関する意識や環境が社会経済構造の変化に必ずしも適応できず、仕事と生活が両立しにくいという現実に向き合っています。誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て、介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう仕事と生活の調和が求められています。

このような現況を踏まえ、ワークライフバランスの実現に向け、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。(H27 特別区)

テーマ② 少子化 / 超高齢社会 / 人口減少

少子化が進展している。少子化による課題を挙げたうえで、県(受験自治体)が取り組むべき方策について論じなさい。

【ポイント1(少子化・人口減少)】

少子化問題は未だ解決されておらず、国家にとっても基礎自治体にとっても最重要課題です。受験自治体で過去に出題されたことがあったとしても、繰り返し出題される可能性が高いテーマになります。出産・結婚支援や子育て支援、また、働き方を見直すなど、様々な視点から論じていく必要があります。

【ポイント2(超高齢社会)】

超高齢社会を考える際、「高齢者」をひとくりにするのではなく、心身ともに元気な高齢者(一般的にいう前期高齢者)と、身体が衰えてきている高齢者(一般的にいう後期高齢者)に分けて考えることが大事になります。現在、企業によっては定年自体を廃止するなど、高齢者の経験や知識を活かしていこうとする流れになっています。高齢者がどのように社会とかかわっていくのか(働くことだけでなく、地域貢献も含めて)を、できるだけ広い視点をもって論じてください。

(類題)

・わが国の人口は、2008年をピークとして人口減少局面に入りました。国立社会保障・人口問題研究所の推計(出生中位・死亡中位推計)によると、現状のままのペースでは、2050年には人口が1億人を割り込み、2100年には約5,000万人(参考推計)まで減少するとも推計されています。

これについて、次の(1)から(3)の問いに答えなさい。

(1) 人口減少の大きな要因である少子化をもたらすもののひとつに、未婚化・晩婚化の進行があげられます。未婚化・晩婚化が進行している背景としてどのようなことが考えられるか、具体的に3つ挙げ、説明しなさい。

(2) このような人口減少の動きは、わが国の社会経済にどのような影響を与えていくと考えられるか、具体的に説明しなさい。

(3) 人口減少に歯止めをかけるためにどのような取組みが必要か、あなたの考えを具体的に述べなさい。(H28 大阪府)

テーマ③ 地方創生 / 観光振興

〇〇県の地域活性化に向けた課題を1つ挙げ、その課題解決に向け、職員としてあなた自身がどう貢献できるかについて述べなさい。

【ポイント】

平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、**各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生**することを目指しています。論文では、**地域の特徴を活かした「雇用創出」や「若者の定住促進」**などについて提言していきましょう。

また、**地方上級試験・市役所試験では、地域活性化に関するテーマの出題頻度が非常に高く、その地域の現状や取組みを知っておく必要があります**(面接にも役立ちます)。

なお、**新型コロナウイルスの影響**によって、これまで右肩上がりだった訪日外国人が激減し、その回復には数年はかかると言われています。このような状況で、**観光業や飲食業のあり方、また、観光だけに頼らない地方創生**についても考える必要があります。受験先の自治体についてしっかりと調べたうえで論じるようにして下さい。

(類題)

- ・本市が「選ばれるまち」となるために、必要と考える要素を1つ挙げ、その理由と、今後どのように取り組むべきか述べなさい。(H28 奈良市)
- ・観光客の増加によって起こる変化、またその変化に県はどのように取り組むべきか。(H28 神奈川県)

テーマ④ 防災・減災(危機管理①)

災害に強い地域であるために行政が取り組むべきことは何か、あなたの考えを述べなさい。

【ポイント】

災害のテーマが出ると、2011年の東日本大震災の地震と津波を想起して、長々とそれについて論じる受験生がいます。しかし、**災害は地震・津波だけでなく、火山噴火、大雪、洪水、台風、竜巻など、地域によって抱える問題は様々**です。必ず受験自治体を意識した文章を入れるようにして下さい。

実際に災害が起きた時には、自分の身は自分で守り、地域で助け合って避難することが求められます。行政の力には限界があるという意味で、「自助・共助・公助」のキーワードを忘れずに使用してください。

なお、防災・減災がテーマの場合は、ハード対策(防災用の構造物を作るなど)とソフト対策(防災訓練や防災教育など)の両方からの指摘が必要になります。

(類題)

・「安全で安心して暮らせるまち」とはどのようなまちか、あなたの考えを述べなさい。

テーマ⑤ 感染症対策(危機管理②)

今後、新型コロナウイルスのような感染症が発生した場合に、行政が取り組むべき事は何か、あなたの考えを述べなさい。

【ポイント】

コロナ禍において、「命か経済か」が大きく議論されてきました。もちろん命が一番ですが、経済的困難により自殺する方も出てくるため、両方のバランスをとっていかなければなりません。各自治体はその両立について様々な取り組みを策定し始めています。受験先の自治体の例を参考にしながら、感染症対策として取り組むべき事、経済を守るために取り組むべき事を整理して論じていけば合格レベルの答案に仕上がります。

テーマ⑥ 情報通信(DX / ICT / SNS)

(1) デジタル・トランスフォーメーションについて論じなさい。

【ポイント】

最近よく耳にするデジタル・トランスフォーメーション(DX)については、行政の立場で簡単に理解しておくで安心です。DXという言葉は幅広い意味で使われていますが、ものすごく簡潔にまとめると「デジタル技術を活用して行政サービスを変革すること」といえます。

自治体においては、まずは、「自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させる」とともに、「デジタル技術や AI 等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく」ことが求められています。

といっても抽象的でイメージがわきにくいかと思います。

たとえば今、マイナンバーの普及に力を入れています。このマイナンバーこそ、オンラインで確実に本人確認ができ、デジタル社会の基盤となるものです。まずは、全県民がマイナンバーを所持するためには、自治体としてどうすべきかについて触れるのもよいでしょう。

また、2020年は「教育DX元年」だったと言う人もいます。授業のオンライン化だけでなく、学校と保護者間でのハンコのやりとりをなくしたり、連絡手段をデジタル化する方針を文部科学省が明らかにしました。しかし、もちろんここには様々な問題も発生してきます(導入段階では、端末の負担や、ツールを使いこなせないという問題等)。それらの問題をどのように解決していくかに触れるのもよいでしょう。

DXの理解はなかなか難しいものです。したがって、以上のように具体例を2、3例示してそれを通して行政としての取り組みを論じていくようにしましょう。

(2) SNSの利用について、あなたの考えを述べなさい。

【ポイント】

SNS上による誹謗中傷は後を絶たず社会問題となっており、2020年には発信者情報開示手続の法改正に向けて検討されています。SNSは多くの利用のメリットがある一方で、誹謗中傷や名誉毀損などの問題を孕んでいます。SNSに関するテーマが出題された場合は、感情的にならずに、淡々と利用のメリットとデメリットを整理して論じたいうえで、どのように利用していくことが求められるかを書いてまとめてください。

テーマ⑦ SDGs

プラスチック問題とSDGsについて述べなさい。

【ポイント】

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標(貧困、教育、ジェンダー、エネルギー、持続可能な都市などの17項目がある)のことを言います。

そして日本では、地方でのSDGsの推進が、正に地方創生の実現の助けとなるもの

として、各自治体が積極的に取り組みを行なっています。受験先の自治体がどのようなSDGs推進を行なっているのか、ホームページで是非確認しておいてください。

なお、テーマのプラスチック問題とSDGsについては日常生活でも最近よく耳にする言葉ですので、出題される可能性も高いです。まずは、プラスチックごみの何が問題なのかを指摘したうえで、その対策としては一人一人の意識だけでなく、**そもそもプラスチック製品を作らないという社会を作っていくことが必要**であることを指摘しましょう。

テーマ⑧ その他(コミュニケーション/ダイバーシティ)

(1) 現代社会において人と人とのコミュニケーションの態様がどのように変容しているかを指摘したうえで、組織内におけるコミュニケーションの重要性とその在り方について論じなさい。(H22裁判所)

【ポイント】

多くの自治体で、「組織内におけるコミュニケーション」についての課題が出題されています。職場で円滑に業務を行うにはコミュニケーションが非常に重要なこともあり、いつ出題されても、何度繰り返し出題されてもおかしくないテーマです。

特に、**新型コロナウイルスの影響により、コミュニケーションの取り方も変容**しました(例えば、リモートワークにより、仕事上でもオンラインでのやりとりが行なわれるようになりました)。しかし、そこには対面とは異なるデメリットも存在するはずで**す**。その**デメリット**とどのように向き合っていけば円滑なコミュニケーションがとれるのかにも言及してください。

(2) ダイバーシティの推進について、あなたの考えを述べなさい。

【ポイント】

ダイバーシティ(多様性)という言葉は多義的に使われていますが、基本的には、**年齢や性別、価値観などの多様性を尊重**することです。テーマのように抽象的な形で出題された場合は、たとえば「労働力不足」という深刻な問題を背景に、「**女性、高齢者、障がい者、外国人**などの活躍を推進すること」と捉え、**多様性を認めて労働市場を活性化させる**という流れで論じると書きやすいかと思います。

以上